

(1) 公認アシスタントマネジャー養成カリキュラム

共通科目：総合型地域スポーツクラブなどの運営に携わる者として、スポーツ指導の基礎的知識と指導法を理解することができるようにしました。

専門科目：総合型地域スポーツクラブなどにおいて、クラブマネジメントのための諸活動をサポートするため、クラブマネジメントの基礎を広く学ぶことができる内容にしています。

(2) 公認クラブマネジャー養成カリキュラム

専門科目：「コミュニケーションスキル」、「マーケティング」、「経営戦略」、「運営」、「財務」、「評価」といったマネジメントに不可欠な内容をより具体的に学ぶカリキュラムになっています。また、講習受講後は所属クラブの事業計画書（ビジネスプラン）の作成とそれに基づくプレゼンテーションによる検定試験を行い、修了判定をしています。講習会を通じて、より実践的な能力を身につけることができるよう特徴的なカリキュラム構成としています。

6. 資格取得のための養成システム

(1) 公認アシスタントマネジャー

公認アシスタントマネジャーの養成については、都道府県体育協会、広域スポーツセンター、都道府県教育委員会などの地方公共団体が実施する講習会のうち、本会が定める基準を満たす講習会を「公認アシスタントマネジャー養成コース」として承認することにより、各実施団体の養成計画に沿った公認アシスタントマネジャー養成を可能としました。各団体で開催する講習会を、公認アシスタントマネジャー養成カリキュラムと同等の内容で実施していただくことで資格取得につながるようになります。

(2) 公認クラブマネジャー

公認クラブマネジャー養成講習会は本会が直接実施します。クラブマネジメントに関する実践的な知識や能力を身につける効果的な内容とするため、集合講習でなければできない内容と、通信講習（自宅学習）でもできる内容とに分類して実施しています。

集合講習会は一方的な講義形式だけではなく受講者同士のディスカッションやワークを積極的に取り入れ、受講者が自ら思考しながら学ぶことができる講習会としております。

また、講習会に主体的に参加するには事前事後の自己学習が欠かせないことから、通信講習（自宅学習）としてインターネットを活用したオンライン講習を実施しております。

7. 今後の方向性

現在、総合型地域スポーツクラブの数は3,000を越え、「全国の各市区町村において少なくとも1つは総合型地域スポーツクラブを育成する」という国のスポーツクラブ育成計画に沿った目標に向け、今後もクラブ数は増加することが予測されます。また、本会では総合型地域スポーツクラブ育成推進事業を展開しており、年間400以上のクラブに対する育成支援を行っており、今後もこの事業を継続していくこととなっています。まさに全国的にクラブ創設の気運がますます高まっている状況であるといえます。

これらのクラブが自立していくためにも各クラブにマネジメントに関する専門的な知識を有する専従の公認クラブマネジャーと複数の公認アシスタントマネジャーが在籍するような体制が図れるよう事業を展開していきたいと考えております。